

【基本情報】

クラブ名	ザスパ群馬		
活動テーマ	運営研修 第29節 vs SC 相模原 ホーム戦運営ミーティング参加		
実施場所	ザスパーククラブハウス 2F the・pitch 会議室		
活動部署	運営		
参加者	秋元 俊大(運営)	松本 大樹(運営)	三上 冬真(運営)
	岸川 優介(運営)	富永 真悟(広報)	秋元 琉星(選手)
	小西 宏登(選手)	野瀬 翔也(選手)	新井 夢功(選手)
活動期間	2025年9月17日(水)		

【活動報告詳細】

■活動目的

- ・クラブ運営の裏側を学び体験することでJリーグやクラブを支えている人々の存在に気づき、感謝の理由を実感する。
- ・社会人の基礎として、外部への報告書作成を試みる。

■活動内容

- ・運営の心構えを知る
- ・運営業務の仕事や運営に関わる方々をしる
- ・運営側と選手側での運営に対する意見交換。

■選手コメント

小西 宏登 選手 コメント

今回の運営ミーティングに参加しホームゲームの活動内容などを聞くことで、私たちが常に最高の雰囲気で行っているのは陰で多くの人々の支えがあるということを再認識することができました。1試合の運営に関わる人員数は約200～300人もの人々が携わっているということや看板の設置は試合前日の朝9時から行われていること、試合のスケジュールが1分単位で組まれていることなどが非常に印象に残っています。

こういった活動を知り私たちができることは、感謝を忘れず試合で勝利をもたらす多くの人々に感動を与えることだということを改めて感じることができました。

野瀬 翔也 選手 コメント

運営の方々が準備してくださっていたのは理解していたが、自分が思っている以上に多くの方々が動いてくださっていることで、素晴らしい環境のホームゲームが開催できていることを理解した。その方々に感謝を伝える方法としては勝利が一番なのでアウェイももちろんだが、ホームはより勝利にこだわらなければいけないと感じた。運営をして下さってくれる方々もザスパが勝つことでやりがいや満足感をより感じられるし、警備などの環境を整えるお金もより増やせることにつながると思う。勝つことで様々なところでの循環が良くなり、ザスパが大きなものにつながる。今回の講習を聞き、より一層プロ選手としての自覚が芽生えた。

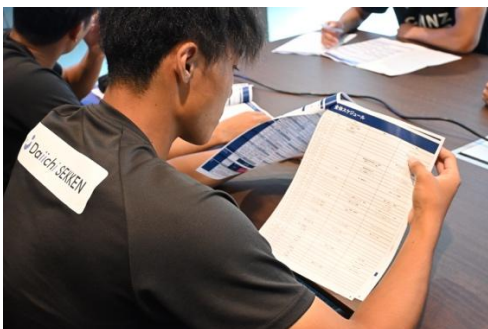
秋元 琉星 選手 コメント

自分たちが試合に集中できているのは、裏方でやってくれている人がいるということを忘れてはいけなかったと思います。選手はその思いを背負ってチームのためにプレーし、戦わなければいけないと思いました。試合で勝ち、勝利を届けることが、1番の恩返しだと思うので、勝利のために戦いたかったです。今回、このような経験をできたことを無駄にせず、選手としてやるべきことをやり、感謝の気持ちを忘れずにやっていきたいと思いました。

新井 夢功 選手 コメント

今回の研修で感じたことは、自分たちは毎日当たり前のようにサッカーをさせてもらっているが、それは当たり前ではないということを再確認できた。ザスパの運営の人や広報、数えきれない人がそれぞれの役割に全力で取り組んでいるからこそ成り立っているものだった。その中でホームゲームでは朝早くから準備やスケジュールに合わせて多くの人が最高の舞台を作ってくれている。その想いを背負って自分たちはピッチの上で表現して勝利を届ける必要がある。一つ一つのプレーや日常生活に自覚と責任を持って臨んでいきたいと思った。

■活動写真



【基本情報】

クラブ名	ザスパ群馬		
活動テーマ	運営研修 第32節 vs 福島ユナイテッド ホーム戦運営ミーティング参加		
実施場所	ザスパーククラブハウス 2F the・pitch 会議室		
活動部署	運営		
参加者	秋元 俊大(運営)	松本 大樹(運営)	富永 真悟(広報)
	上釜 広行(強化)	小竹 知恩(選手)	
活動期間	2025年10月15日(水)		

【活動報告詳細】

■活動目的

- ・クラブ運営の裏側を学び体験することでJリーグやクラブを支えている人々の存在に気づき、感謝の理由を実感する。
- ・社会人の基礎として、外部への報告書作成を試みる。

■活動内容

- ・運営の心構えを知る
- ・運営業務の仕事や運営に関わる方々をしる
- ・運営側と選手側での運営に対する意見交換。

■選手コメント

小竹 知恩 選手 コメント

今回はJリーグ公式運営サポート、スポンサーの営業同行、グッズの企画について学びました。その中で運営さんが心がけている安心・安全・快適なスタジアム環境を作ること心がけていて、どんな時も「最高の作品」を創り上げる努力を自分達選手が普段見られない部分を知ることができて、当たり前のように毎週末のサッカーの試合ができるのはサポーター含め、色んな方面からのサポートして頂いて、できているので改めて感謝してプレーしたいと思いました。

■活動写真





2025Jリーグ新人研修クラブ運営サポート活動レポート



【基本情報】

クラブ名	ザスパ群馬		
活動テーマ	飲酒運転撲滅キャンペーン		
実施場所	前橋市内繁華街		
協働団体	前橋市	前橋警察署	前橋警察署交通関係団体
	前橋交通安全協会		
参加者	商店街飲食店スタッフ	お客様	
	秋元 琉星	小西 宏登	野瀬 翔也
	新井 夢功	小竹 知恩	
活動期間	2025 年 12 月 3 日（水）		

【活動報告詳細】

■活動目的

社会課題である飲酒運転を減らすため

■活動内容

社会課題である飲酒運転を減らすためグループに分かれチラシ配布活動を行い周知する。

■選手コメント コメントは各選手につき200文字以上お書きください。

秋元 琉星選手

今回、このような機会を作っていただきありがとうございます。飲酒運転での事故は、テレビなどでよく見たことがあります。なぜ、このようなことをするのが考えられませんがそれを少しでも減らせることに貢献できるために今回色々なお店に入りやらせていただきました。日本から飲酒運転がなくなるよう、自分も周りに伝えていきたいと思います。自分がやらないことは当たり前ですが、周りを止めることも自分の役割だと思うのでしっかりやっていきたいと思っています。

小西 宏登選手

今回のシャレン活動では前橋警察の方々と主に中央前橋前橋付近を巡回し、飲酒運転減少の協力を促すことが無事にやり遂げられて少しでも社会活動に貢献できたと思います。そして、それと同時にザスパ群馬を少しでも知ってもらい良い機会になったため、より地域に根付いたクラブになっていくためにまずは結果で恩返しするべきであると改めて感じました。また、こういった循環が必然的に社会課題を減らすことに繋がっていくと思います。地域の人々の温かさに触れることができて良かったです。

野瀬 翔也選手

地域の方々と直接喋る機会は今までなかったのでとても良い機会になりました。自分が思った以上に地域の方々はザスパ群馬を応援してくれていて、その期待に応えなければいけないと強く感じました。

また、日頃からボランティアの方々があの様な活動をしていて、少しでも前橋がよくなるように尽力して下さっていることが分かりました。これからお酒を飲む機会はあるのでより一層気を引き締めて、飲酒運転は自分だけでなくチームにも迷惑をかけてしまうので絶対にやらないようにしたい。地域の方々と触れ合うことができ、飲酒運転に気をつける良い機会にもなりました。

新井 夢功選手

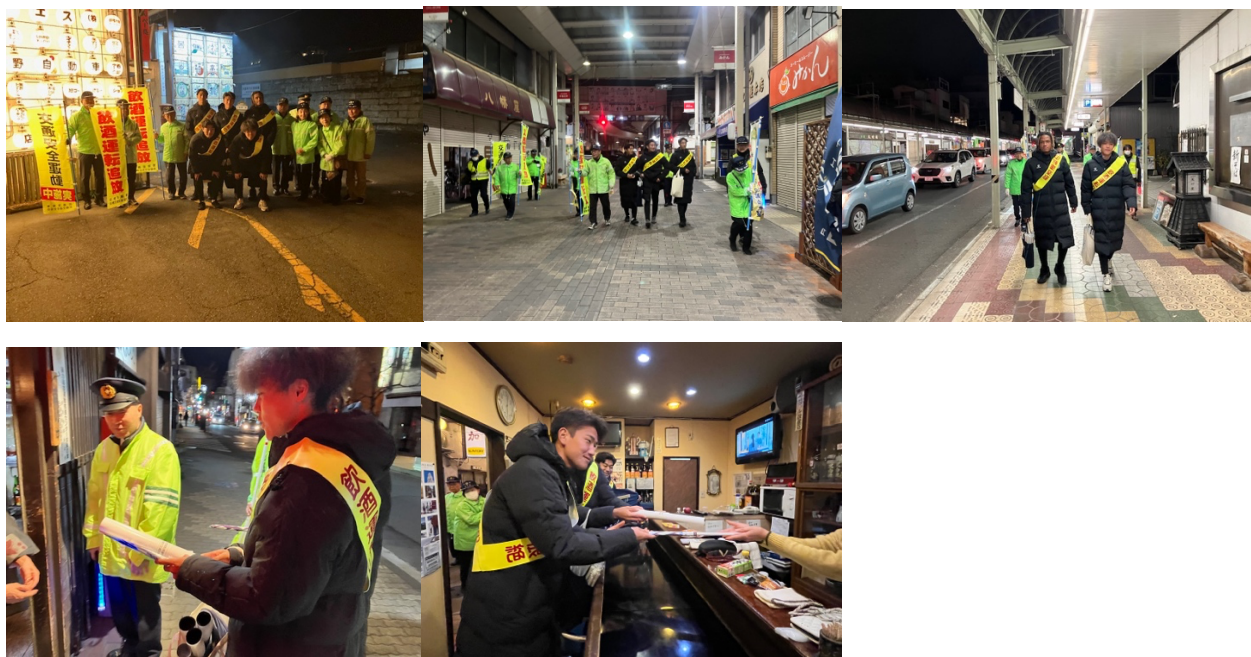
飲酒運転撲滅の活動行ってみて、近年では車の飲酒運転だけではなく、自転車の飲酒運転も増加していることがわかった。商店街でポスターの配布活動してみて、お酒を飲んでいる人が沢山いて、その人たちに呼びかけをしたり、交流できてよかったと思う。また、自分が20歳になり、お酒を飲む機会があった時は、事前に飲酒運転をしないための計画をしっかりと立て、絶対にそのような事がようにならないうと思った。

チラシ配布活動を行い、ザスパ群馬はたくさんの人に愛されている事がわかった。そのひとたちを、喜ばせられるように、サッカーと真摯に向き合い、見つめ直して、結果を残していけるようにしないと行けないと思った。

小竹 知恩選手

新人研修として飲酒運転防止のチラシ配布活動に参加し、社会に向き合う責任の重さを実感しました。街ゆく人に直接声を掛けることで、自分たちの行動が地域の安全につながるという実感が湧きました。また、受け取って真剣に耳を傾けてくれる方も多く、スポーツ選手として社会から期待されていることを改めて感じました。今回の活動を通じて、競技だけでなく社会貢献も担う立場であることを自覚し、今後も模範となる行動を心がけたいと思いました。

■活動写真 活動写真の中から、代表的な写真を以下に 3～6 点掲載ください



※この活動レポートはJリーグのHPにアップいたしますので必ず広報担当者の確認を取ってください。

活動レポート 作成者名	上釜 広行	活動レポート確認 広報担当者名	富永 真悟
----------------	-------	--------------------	-------